

## 付 表

## 浦 和 市 主 要 年 表

西 曆	年 代	事 項	西 曆	年 代	事 項
約2万 5千年前	旧石器 時代	市域にはじめて住むようになる	1524	大永4年	北条氏綱が三室郡に制札を出し、軍勢の乱暴を禁止する
約8,000 年前	縄文時代	このころ白幡に、たて穴住居ができる	1560	永禄3年	太田賢正が潮田資忠に、浦和・木崎・領家などを与えたという
約6,000 年前	"	このころは、いまの東京湾が深く入りこみ、大谷場などの貝塚ができる	1572	元龜3年	北条氏政が氷川女体神社の社領を安堵し、竹木類の乱伐を禁止する
約2,000 年前	弥生時代	このころ浦和でも、水稲耕作がはじまる	1590	天正18年	浅野長吉が浦和市に対し禁制を発し、けんか、口論、押売などを禁止、市を公許する
7世紀	古墳時代	このころ大久保や土合に古墳が築かれる	1591	" 19年	土合・三室などで検地が行なわれる
807	大同2年	太田窪の行弘寺、三室の報恩寺が創建されたという	1604	慶長9年	徳川家康が大久保長安に命じて、日本橋を中心として各街道に一里塚を築いた(市内は辻・常盤の2ヶ所)
813	弘仁4年	田島の葉王院が創建されたという	1609	" 14年	高力清長の追福のため、代官中村吉照が北浦和の廓信寺を創建する
820	" 11年	仲町の玉蔵院が創建されたという	1612	" 17年	沼影村で検地が行われる
829	天長6年	中尾の吉祥寺、本太の延命寺が創建されたという	1622	元和8年	保科正之を養育した見性院が没し、大牧の清泰寺に葬られる
830	" 7年	領家の長覚院が創建されたという	1629	寛永6年	伊奈忠治が尾間木に八丁堤を築き、見沼の一部を締め切り貯水池とする
832	" 9年	領家の明円寺が創建されたという	1665	寛文5年	幕府が中山道の伝馬宿に関する規定を定める(人馬各50)
866	貞観8年	大牧の清泰寺が創建されたという	1697	元禄10年	大門町が日光御成街道の宿駅となる
927	延長5年	この年延喜式が撰進され、その中に氷川神社・調神社などの名が見える	1727	享保12年	井沢弥惣兵衛が將軍吉宗の命により、見沼溜井の干拓と新田の開発に着手見沼代用水路工事着工
1008	寛弘5年	三室の東漸寺が創建されたという	1728	" 13年	見沼代用水路工事完成
1184	元暦元年	太田窪の守光院が創建されたという	1731	" 16年	見沼通船堀開門が完成し、通船をはじめ
1293	正応6年	三室の氷川女体神社に、この年の祭事用の木鉢がある	1832	天保3年	佐藤信淵が江戸を追放され、鹿手袋の永堀方に居住する
1309	延慶2年	白幡の医王寺にある市内最大の青石塔婆が建立される	1845	弘化2年	佐藤信淵が鹿手袋の永堀方で、「養蚕要記」を著す
1333	正慶2年 (元弘3年)	氷川女体神社で性尊らにより大般若経の書写がはじまる	1858	安政5年	見性院尼の墓碑が清泰寺に建てられる
1335	建武2年	足利尊氏が佐々日郷を鎌倉の鶴岡八幡宮に寄進する	1861	文久元年	皇女和宮、降嫁で11月13日浦和宿を通過する
1337	" 4年 (延元2年)	足利尊氏が一色範行に命じ調神社を造営させ、社領として5ヶ村を寄進したと伝えられる	1868	明治元年 6月	武蔵県設置、市域はその管下となる
1350	観応元年 (正平5年)	高師直が安保忠実が大窪郷を与える	1868	" 10月	明治天皇、大宮氷川神社参拝のため星野家(旧本陣)に御宿泊
1351	" 2年 ( " 6年)	大久保地域の羽根倉で羽根倉合戦が行われる	1869	2年1月	武蔵県を廃し、大宮県とする
1382	永徳2年 (弘和2年)	足利氏満が大牧村を法泉寺に寄進す	"	" 9月	大宮県を浦和県に改称
1385	至徳2年 (元中2年)	佐々木持清が、兵乱で焼失した調神社の神殿を造営し、社田2ヶ村を寄進したと伝えられる	1870	3年1月	浦和県庁舎鹿島台に新築
1396	応永3年	日光輪王寺所蔵の奥書に「武州足立郡浦和の善賢律師右筆年70云々、応永3年内子10月18日未時書写早」とあり、いまのところうらわの地名が古文書にみられる最古のものである。	1871	4年3月	浦和県が浦和郷学校を玉蔵院に開設
1415	" 22年	この年の市場祭文に、野田・大門市等の名が見られる	"	" 11月	浦和県を廃し、埼玉県を設置(12月1日浦和県庁舎跡に新庁開設)
1451	宝徳3年	高博盛影は新座の大工二郎・三郎らに本太の氷川神社の神輿を造らせる	"	"	浦和郵便役所(後の郵便局)開設
			1874	7年12月	岸村を浦和宿に合併
			1876	9年1月	県立学校内に医学校開設
			1877	10年6月	電信線が通じ電信分局設置

西 暦	年 代	事 項	西 暦	年 代	事 項
1878	明治11年 8月	浦和警察開署（従来本庁内）	1915	4年7月	尾間木、土合、六辻村旱魃被害
"	"	明治天皇、北陸巡幸途次新築の師範 学校（鳳翔閣）を行在所として御宿泊	1916	5年7月	公会堂完成、恭慶館と命名
1879	12年3月	北足立・新座郡役所設置	"	"	浦和一鳩ヶ谷間、鳩ヶ谷自動車のバ ス開通
1883	16年7月	高崎線上野一熊谷間開通、浦和駅営 業開始	1917	6年2月	県会議事堂落成
1886	19年5月	県庁熊谷移転運動起る	"	" 10月	大暴風雨により、浦和署管内全壊83 戸半壊10余戸を出す
1888	21年3月	上町（現常盤）より出火、宿の約半 分焼失	"	" 11月	鳩ヶ谷・大門間自動車運転開始
1889	22年4月	町村制施行により浦和町となり、市 域内の各村々の合併もすみ谷田・木 崎・三室・尾間木・六辻・土合・大久 保・美谷本・野田・大門の各村が誕生	1918	7年6月	浦和農産市場（株）設立
"	" 5月	町役場、浦和町 243番地に開庁	"	" 11月	（株）武州銀行設立
1890	23年9月	県庁の位置を浦和町に定める旨の勅 令が出る	1919	8年1月	（株）武州銀行本店開業
1896	29年3月	（株）武州貯蓄銀行設立	"	" 8月	日本製麻（株）設立
"	" 4月	郡廃置法を施行し、旧新座郡と旧足 立郡の区域をあわせてあらたに北足立 郡とし、郡役所は従来どおり浦和に置く	1920	9年6月	埼玉用達（株）設立、（霊柩車、火葬場 を運営）
1898	31年	市内の山田いち甘薯の良品種紅赤を 発見	"	" 7月	田島ヶ原のサクラソウ自生地、天然 記念物として内務省から指定
1900	33年4月	（株）浦和商业銀行設立	"	" 10月	第1回国勢調査実施
1904	37年7月	埼玉電灯（株）により、はじめて電灯が ともる	1921	10年4月	郡制廃止法公布
1906	39年4月	感化法施行（明治38年）で、埼玉学 園開園（昭和7年4月に上尾に移転）	"	" 8月	浦和より志木・大門へ自動車開通
1907	40年8月	豪雨により荒川堤防決壊、大久保・ 土合・六辻・西浦和方面の被害じん 大、各所に救護所設置	"	" 11月	官立浦和高等学校創立（事務所は文 部省内）
1910	43年3月	特設電話開通（加入者84名）	1922	11年4月	官立浦和高等学校開校
"	" 8月	豪雨により荒川堤防決壊、大久保・ 土合・六辻・西浦和方面の被害じん大	"	" 10月	埼玉県教育会が埼玉図書館を設置、 開館
1912	大正元年 9月	暴風雨により家屋の全半壊、電柱転 倒多数、死傷者が出る	"	"	町営住宅建設完成（36棟51戸）
"	" 11月	与野駅開設	"	"	町の紋章、懸賞募集により決定（昭 和9年市制施行のとき、この紋章を正 式に市の紋章と決定）
1913	2年8月	豪雨により荒川がはん濫、大久保・ 土合・西浦和地区が大被害	1923	12年4月	郡制廃止法施行
"	" 10月	県会議事堂竣工（総工費10万円）	"	" 9月	関東大震災により町内に被害（六辻 土合地区等は倒壊家屋多数）
"	" 12月	埼玉師範学校本館、講堂等が失火で 全焼	1924	13年4月	県立図書館建設
1914	3年1月	浦和簡易図書館開館（玉蔵院傍）	"	" 9月	女子師範学校校舎はほぼ完成、新校舎 に移転
"	" 3月	浦和産婆学校開校	"	" 12月	浦和一所沢間、乗合バス運行認可
"	" 7月	浦和・越谷間乗合馬車開通	1925	14年3月	浦和一片柳一大宮間、乗合バス運行 認可
"	" 8月	豪雨により、この月2回にわたり、 荒川はん濫	1926	15年10月	私立京北高等歯科医学校、埼玉会館 前に新築開校
"	" 9月	埼玉県師範学校新校舎落成	"	" 11月	埼玉会館竣工
"	" 10月	町有共同墓地の余地がなくなり、鯛 ヶ窪に新設	"	" 12月	鶴屋自動車、浦和一大宮間の乗合バ ス運行を許可される
"	" 12月	県物産陳列所、調公園内に開館	1927	昭和2年 2月	日本製麻（株）閉鎖
			"	"	塚本・宿地内で大火
			"	" 3月	町立浦和商业学校開校（裏門通り兵 林館借用）
			"	" 5月	浦和町職業紹介所開設

付 表

西 曆	年 代	事 項	西 曆	年 代	事 項
1927	昭和2年 5月	中井銀行休業	1937	12年9月	防空体制強化のため防護団設立
"	"	はじめての塵芥焼却場を字天王(現元町)に建設	"	"	浦和中学校(現浦和高校)、領家の現在地に移転
1928	3年8月	豪雨による大洪水で荒川筋に大被害	1938	13年1月	浦和一所沢線の荒川に秋ヶ瀬橋完成
"	" 10月	浦和商业学校の移転(稲荷丸から白幡)、町議会で可決	"	" 4月	この月以降、統制経済推進のため商工業組合の結成が進められる
"	" 12月	武州鉄道岩槻―大門間開通(昭和12年廃止)	"	" 7月	六辻村、町制施行
1929	4年11月	浦高同盟休校事件	1939	14年3月	市営浦和(のちの高砂)公益質屋業務開始
"	"	大門銀行解散	"	" 6月	浦和商工会議所設立
"	"	字名、区域地番等の改正はじまる	1940	15年1月	所沢・浦和間直通バス運転
1930	5年1月	蚕業取締所熊谷より浦和へ移転	"	" 4月	市立高等女学校、領家に開設
"	" 6月	浦高同盟休校事件	"	"	三室村・尾間木村を浦和市に合併
"	" 12月	埼玉師範学校本館、講堂、原因不明の火災で焼失	"	" 10月	鈴谷の塵芥焼却場完成
"	"	浦和駅東口、地下道完成により開設(12月27日営業開始)	1941	16年4月	小学校を国民学校と改称
1931	6年2月	見沼の通船、許可期間が切れ廃止	"	" 12月	市立高等女学校、元町の新校舎に移転
"	" 9月	甘薯「紅赤」種発見者山田いち女「富民賞」受賞	"	"	対米英宣戦布告
1932	7年3月	埼玉県師範学校、再建築落成	1942	17年4月	六辻町を浦和市に合併
"	" 4月	木崎村・谷田村が浦和町に合併される	"	" 7月	北足立地方事務所開設
"	"	埼玉学園、上尾町に新築移転	1943	18年4月	市立中学校(のちの市立高校)、白幡の六辻小学校を仮校舎に開校
"	" 8月	山本印刷争議	"	"	県立男・女師範学校が官立師範学校となり、男子部、女子部となる
"	" 9月	東北線大宮―赤羽間電化	"	" 7月	常備消防部をはじめて設置
1933	8年7月	副業指導所開所	"	" 7月	1県1行方針に基づき、武州銀行などが統合して埼玉銀行を創立
"	"	県と埼玉共済会の合併で、埼玉社会館を岸町に設置	1944	19年2月	日本放送協会浦和出張所設置
"	"	大谷口の尚和園(養老、育児)設立認可(昭和10年開所)	"	" 10月	浦和保健所設置
"	"	国道17号(新国道)志村―大宮間開通	"	"	1県1紙方針に基づき、埼玉新聞社創立
1934	9年2月	市制施行(11日)	"	" 12月	市立浦和青果市場を岸町6丁目に開設
"	"	浦和第2尋常小学校(現常盤小学校)火災により焼失	1945	20年4~5月	空襲を受け被害
"	" 3月	埼玉県南水道組合成立	"	" 8月	終戦詔勅放送、無条件降伏(15日)
"	"	県立浦和第2高等女学校を女子師範学校に併設(4月開校)	1946	21年2月	神社社格廃止、宗教法人として発足
1935	10年3月	電話の自動化開始	"	" 3月	埼玉軍政部、大宮市から浦和市(埼玉会館別館)へ移転
"	"	浦和主婦互助会設立認可される	"	" 10月	選挙管理委員会設置
"	"	尚和園開設	"	" 12月	火葬場を埼玉用達(嶽)より譲り受け市営とする
1936	11年4月	小松原女子洋裁学校創立	"	"	第2次農地改革、自作農創設、農地委員会設置
"	" 9月	北浦和駅開設	1947	22年4月	6・3制男女共学の新教育制度発足(小学校、中学校と改称)
"	" 12月	武州鉄道、大門―神根間延長開通	"	"	岸・常盤・調宮・木崎・尾間木・白幡・六辻・土合・大久保・大門・野田の各中学校創設
1937	12年1月	埼玉県南水道組合事業開始			

西 曆	年 代	事 項	西 曆	年 代	事 項	
1947	昭和22年 4月	選挙法が改正され、はじめて市長の公選実施(5日)、参議院(20日)・衆議院(25日)・市会(30日)・県会(30日)の各議員の選挙実施	1955	30年1月	土合村・大久保村を浦和市に合併	
"	"	5月	"	"	4月	私立都北学院高等学校が市に移管され、市立都北高等学校設置
"	"	10月	"	"	9月	陸上自衛隊埼玉地方連絡部設置
"	"	埼玉総合職業補導所設置	"	"	10月	県庁舎・議事堂完成、落成式挙行
"	"	浦和市授産所設置	1956	31年4月	美園村が大門・野田・戸塚の三村合併で発足	
"	"	浦和競馬場設置	"	"	"	市立浦和商业高等学校県移管
1948	23年3月	6・3・3 制教育施設組合発足	"	"	"	市宮別所沼公園県移管
"	"	自治体警察制度により浦和市警察署発足	1957	32年5月	県立美術館、別所沼畔に開館	
"	"	4月	"	"	7月	豊多摩刑務所が浦和刑務所と改称
"	"	消防本部及び消防署設置	"	"	"	消防庁舎、常盤に新築落成
"	"	浦和競馬場開催(7月より公営となる)	"	"	"	浦和警察署、常盤に新築落成
"	"	6月	1958	33年9月	台風22号の豪雨により市内各所に被害	
"	"	10月	"	"	11月	与野駅東口開設
"	"	第1回教育選挙実施	"	"	"	住宅団地完成、入居開始(上木崎団地72戸・領家立野団地208戸)
"	"	埼玉県庁放火により焼失	1959	34年1月	埼玉大学付属小学校、火災で焼失	
1949	24年1月	浦和少年鑑別所開設	"	"	4月	戸田町一部(西浦和)を浦和市に編入
"	"	3月	"	"	"	私立双恵中学校創立
"	"	5月	"	"	"	私立小松原高校(男子)開校
"	"	旧浦高・旧埼師・旧埼育師を包括し埼玉大学設置	"	"	5月	清肥場落成、操業開始
"	"	6月	"	"	"	市民相談室新設
"	"	12月	"	"	7月	県自治会館新築落成
1950	25年3月	県議会県庁建設委員会で、県庁舎を浦和に建設することを決定	"	"	8月	西堀農事研修所開設
"	"	4月	1960	35年4月	浦和市青少年育成事務局設置	
"	"	県立浦和第二女子高校、浦和西高校と改称	"	"	5月	県立図書館新築落成
1951	26年7月	農業委員会設置	"	"	9月	初の名誉市民として高橋泰雄氏推挙
"	"	11月	1961	36年2月	県衛生会館新築落成	
1952	27年3月	田島ヶ原サクラソウ自生地・野田の鷺およびその繁殖地が国の特別天然記念物に指定される	"	"	4月	県立浦和工業高等学校開校
"	"	6月	"	"	7月	南浦和駅開設
1953	28年2月	市立授産所設立	1962	37年4月	第1回花いっぱい大会開催	
"	"	11月	"	"	5月	美園村の一部(野田、大門)を浦和市に合併
1954	29年4月	公会堂で市営結婚式開始	"	"	"	住宅公団南浦和団地(1,252戸)完成入居開始
"	"	7月	"	"	9月	母子福祉センター設置
"	"	9月	"	"	12月	県農林会館新築落成
"	"	10月	1963	38年4月	市立南高等学校開校	
"	"	市の広報で超短波無線放送開始	"	"	"	埼玉大学工学部設置
"	"		"	"	9月	名誉市民に小谷野伝蔵・長谷川カナの両氏推挙

付 表

西 曆	年 代	事 項	西 曆	年 代	事 項
1963	昭和38年 10~11月	第18回国体(山口県)でサッカー完全優勝(浦和市長・浦和サッカークラブ・埼玉教員クラブ)	1973	48年4月	武蔵野線開通
1964	39年4月	市立南高等学校新校舎、辻に落成移転(第1期校舎新築)	"	"	赤城少年自然の家落成
"	"	浦和商工ビル新築落成	1974	49年1月	市立図書館、北浦和に開館
"	" 7月	埼玉大学下大久保(現在地)に移転開始工学部移転	"	" 4月	さくら草公園、荒川河畔に開園
1965	40年6月	住宅公団田島団地(1,895戸)完成、入居開始	"	" 5月	県立北浦和公園開園
"	" 8月	土合合同庁舎(支所・公民館・農協)完成	"	" 6月	美園支所・公民館新築落成
"	" 11月	市立南高等学校校舎完成	"	" 10月	市民体育館、駒場に完成
"	" 12月	南浦和駅西口で武蔵野線起工式挙	"	"	市民憲章制定
1966	41年2月	埼玉大学教育学部移転	"	"	モクセイを市の木として制定
"	" 4月	荒川左岸流域下水道組合設置	"	"	農業者トレーニングセンター、大崎に開設
"	" 5月	埼玉会館落成式挙	"	" 12月	名誉市民に本田直一・長沼新平・栗原浩・大沢雄一の4氏推挙
1967	42年5月	交通災害共済実施	1976	51年3月	市庁舎完成、移転執務開始
"	" 6月	養護老人ホーム「年輪荘」開所	"	" 5月	市立常盤公園、裁判所跡地に開園
"	" 9月	浦和駅西口市街地改造事業の計画決定・事業決定	"	" 10月	市立図書館中央分館開始
1968	43年1月	名誉市民に松永東氏推挙	1977	52年4月	市立高等看護学院、三室市立病院構内に設置
"	" 10月	浦和駅が列車停車駅となる	"	"	市立南郷ふるさとの家、福島県南郷村に開設
1969	44年8月	大久保支所・公民館完成	"	" 7月	防災広報車「ふるさと号」消防本部に設置
"	" 12月	埼玉大学教養学部、経済学部移転(移転終了)	"	" 8月	第一回浦和おどり大会
1970	45年1月	市立南高等学校、サッカーで三冠王(全国わか選手権・高校総体・国体)	1978	53年7月	南郷村にキャンプ場オープン
"	" 4月	学校給食センター完成	1979	54年3月	千葉県天津小湊に「しらさぎ荘」オープン
"	"	本輪清掃工場完成	"	" 4月	テレビ埼玉開局
"	" 12月	老人福祉センター「和楽荘」完成	"	" 7月	原山市民プール完成
1971	46年1月	市役所、埼玉大学教育学部跡地(現在地)に移転	"	" 10月	トルーカ市と姉妹提携調印式
"	" 2月	市民会館落成	"	"	コミュニティセンター新築落成
"	" 6月	県立秋ヶ瀬公園、荒川河畔に一部開園	1980	55年4月	仲町2丁目に立体駐車場オープン
"	" 7月	市民プール完成	"	" 5月	下大久保に勤労者体育センターオープン
"	" 11月	名誉市民に相川宗次郎・仲田一信の両氏推挙	"	" 7月	浦和セントラルガーデン開園
1972	47年4月	サクラソウを市の花に正式決定	"	" 8月	武蔵野線高架線わきの古タイヤ炎上、武蔵野線不通
"	"	三室支所、公民館新築落成	"	" 9月	武蔵野線1カ月ぶりに全面開通
"	" 6月	郷土博物館開館	"	" 10月	市民保健センター・市医師会館完成
"	" 9月	北公園(老人公園)開園	"	" 12月	下大久保に浦和畜場オープン
"	" 12月	白幡団地完成、入居開始	1981	56年3月	浦和駅西口市街地改造事業竣工
1973	48年3月	尾間木支所、公民館新築落成	"	" 4月	沼影屋内プールオープン
"	" 4月	さくら草学園(精神薄弱児通園施設)領家に設置	"	"	浦和駅西口市街地改造ビルオープン
			"	" 10月	中国・鄭州市と友好都市提携調印式
			"	" 12月	内谷地区で新幹線・通勤新線起工式

西 暦	年 代	事 項	西 暦	年 代	事 項
1982	57年9月	駒場競技場(第2種陸上競技場)完成	1988	63年4月	市内6農協が合併し浦和市農業協同組合発足
"	" 11月	浦和駅に中距離普通列車が全面停車	"	"	皇太子妃殿下、清子内親王殿下、田島ケ原サクラソウ自生地御視察
"	" 12月	高砂常盤線暫定開通	"	"	青少年宇宙科学館落成
1983	58年2月	老人保健法施行	"	" 5月	一般廃棄物最終処分場「うらわフェニックス」オープン
"	" 3月	市立病院の伝染病隔離病舎と結核病棟改築完成(総合化第1期工事)	"	" 8月	市立病院新棟落成
"	" 4月	大崎実習センター、大崎児童学園オープン、ふるさと歩道開設	"	"	浦和市人口40万人突破
1984	59年3月	自転車放置防止条例制定	"	" 9月	消防本部・中央消防署庁舎起工
"	" 4月	藤右衛門ポンプ場通水式	"	" 10月	ホテル南郷落成
"	"	名誉市民に長島恭助氏を推挙	"	" 12月	渡辺武夫画伯、芸術院会員に就任
"	" 5月	ハミルトン市と姉妹提携調印式	1989	平成元年4月	荒川総合運動公園オープン
"	" 6月	大崎事業所収集部門管理棟完成	"	" 6月	市営球場全面改修完成
"	" 7月	住民記録オンラインシステム稼働	"	" 7月	日本語国際センターオープン
"	"	浦和駅前観光案内所「ウラワ・インフォーメーション」オープン	"	" 11月	市立病院総合化
1985	60年2月	浦和駅西口に立体機械式自転車駐車場オープン	"	"	市制施行55周年記念式典
"	" 3月	東北・上越新幹線上野大宮間開通	1990	2年1月	土曜閉庁開始
"	"	新特急浦和駅停車	"	" 3月	教育研究所落成
"	" 4月	公共下水道整備促進三カ年計画スタート	"	" 4月	浦和斎場増築落成
"	" 6月	税務オンラインシステム稼働	"	"	財務会計オンラインシステム稼働
"	"	別所排水路整備完成	"	" 7月	子供議会開催
"	" 7月	文化センター、南浦和図書館落成	"	" 10月	昭和水門通水式
"	" 9月	埼京線開通	"	"	消防美園出張所落成
"	" 11月	第一回浦和市文化栄誉賞贈呈式	"	" 11月	名誉市民に高田誠・相川曹司の両氏推挙
1986	61年3月	埼京線新宿駅まで乗り入れ開始	"	"	大谷場在家線・辻根岸線開通式
"	"	土合支所、土合公民館落成	"	"	消防本部・中央消防署庁舎落成
"	" 4月	市民体育館増築落成	"	" 12月	沼影市民プールにアイススケート場オープン
"	" 5月	さぎ山記念公園開園	1991	3年1月	市営墓地「青山苑」完成
"	" 8月	一般廃棄物最終処分場起工	"	" 2月	六辻水辺公園竣工
1987	62年2月	第一回浦和市功労賞贈呈式	"	" 3月	三室野田線開通
"	"	沼影中継ポンプ場通水式	"	"	南浦和コミュニティセンター開館
"	"	昭和水門起工	"	" 4月	増田三男氏、人間国宝に認定される
"	" 6月	東口開発事務所開所	"	" 8月	ごみ減量対策市民連絡会議発足
"	"	西部開発事務所開所	"	"	浦和ケーブルテレビネットワーク開局
"	"	浦和市平和宣言議決	"	"	浦和市健康長寿のまちづくり基本計画策定
"	" 7月	皇太子殿下、皇太子妃殿下献血運動推進全国大会(文化センター)に御出席	"	" 9月	老人保健施設、ケアハウス起工
"	" 10月	皇沼ホールリニューアル落成	"	" 11月	URAWA産業フェスティバル開催
"	"	徳仁親王殿下見沼通船堀跡御視察	"	"	さいたま新都心起工
"	"	全国都市緑化フェア開催			
"	"	高田誠画伯文化功労者として顕彰される			

付 表

西 暦	年 代	事 項	西 暦	年 代	事 項
1992	平成4年 4月	浦和ふれあい館開館			
"	"	浦和市を本拠地とするプロサッカー誕生			
"	" 8月	第1回ユアース 360花火大会開催			
"	" 9月	中山道歩行者天国廃止			
"	" 10月	市民の窓口開設			
"	"	ごみ処理施設更新事業着工			
"	" 11月	東京外郭環状道路一部開通			